

2019(令和元)年度 初任者 SD 研修『『協働』のための基礎力を身につける』 開催報告

日 時 : 2019(令和元)年 10 月 2 日(水)9:30~18:30(情報交換会 17:00~18:30)
会 場 : キャンパスポート大阪 ルーム B 他(大阪市北区梅田 1-2-2-400 大阪駅前第 2 ビル 4 階西側)
コーディネーター: 清水 栄子氏(追手門学院大学 基盤教育機構/教育開発センター 准教授)※
講 師 : (登壇順)城戸 直也氏(追手門学院大学 人事課 主任)※
岡本 千代恵氏(関西福祉科学大学 運営企画室)※
池田 輝政氏(追手門学院大学 アサーティブ研究センター 客員研究員)
宮原 秀明氏(大阪学院大学 庶務課兼社会連携室 課長)※※
中西 唯氏(大阪薬科大学 総務課)※
小林 諒太郎氏(大阪経済大学 総務部人事課)※
司会進行 : 遠藤 哲哉氏(大阪市立大学 法人事務局法人管理部 市大人事担当課長代理)※
申込者数 : 24 大学 48 名(うち会員外 3 大学 3 名)
参加者数 : 23 大学 45 名(うち会員外 3 大学 3 名)
内容詳細 : 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照
実施結果 : 同上 HP 掲載の「PDF/参加者アンケート」参照
企画・運営 : 大学コンソーシアム大阪 研修部会推進委員会
(注)※推進委員、※※推進副委員長

今年度で 3 年目となる大学コンソーシアム大阪(以下、コンソ大阪という)の「初任者 SD 研修」は、当初予定の定員 30 名を大幅に上回る申込があり、募集締切以降もキャンセル待ちが出るなど大変盛況であった。これを受けて、研修部会推進委員会による調整を経て 48 名にて実施した。

また、遠くは関東からの受講者を含む会員外 3 大学 3 名の参加があった。

冒頭に司会の遠藤氏より、推進委員長である浅田 晋太郎氏(学校法人 大阪女学院 理事)の紹介、また、浅田氏より開会挨拶と本研修の趣旨説明があった。

浅田氏からは「本研修は推進委員会が今までの経験を注ぎ込んで企画・運営するもので、この研修で共に学んだ仲間は将来自身の財産となるだろう」との言葉があった。

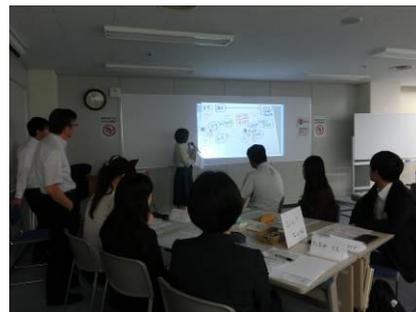
続いて、コーディネーターの清水氏を筆頭に、講師全員の挨拶と自己紹介があった。



続いて、岡本氏、城戸氏によるアイスブレイクとして、グループそれぞれで自己紹介を行い、グループの共通点からチーム名を考えるアクティビティが行われた。また、大学職員として大学生が今どのようなことに興味があるのかをクイズ形式で共有した。



次に、池田氏による「大学職員基礎『高等教育を取り巻く現状を理解する』」をテーマとしたワークショップが行われ、情報を“概念図化”することの重要性について学んだ。グループワークでは、中教審が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」の概要図を用い、“概要図”を“概念図”に再表現し直す過程を通じて、解釈の多様性を理解し、概念図作成のために必要なセンス・分析力への気づきを得た。



昼食休憩後、午後からは宮原氏による「コミュニケーション基礎①『ファシリテーションスキルを高める』」をテーマとしてワークショップが行われた。まずは、非言語コミュニケーションによるバースデーラインづくり(誕生日の月日順に並ぶ)といった実践的なワークからスタート。講義ではコミュニケーション能力とは何か(不安軽減と傾聴)について触れられ、またファシリテーションの4つのスキル(共有、発散、収束、決定)について、実際にあったケースをもとにワークが行われた。



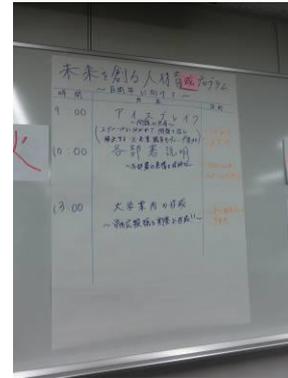
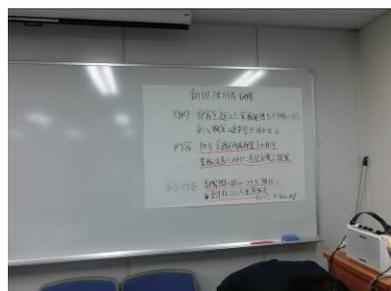
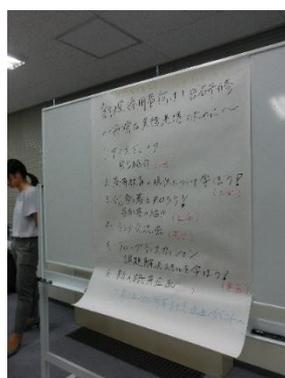
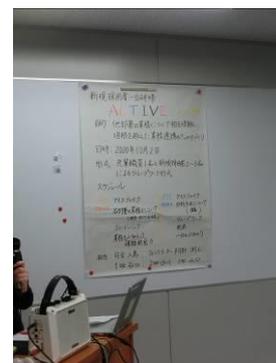
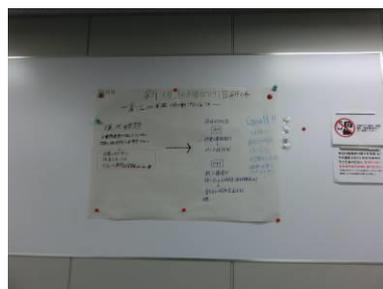
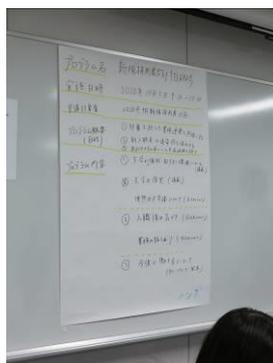
宮原氏の講義を受けて、中西氏からファシリテーション実践の課題が出され、30分のグループワークののち、講師から指名されたグループ代表による発表が行われた。

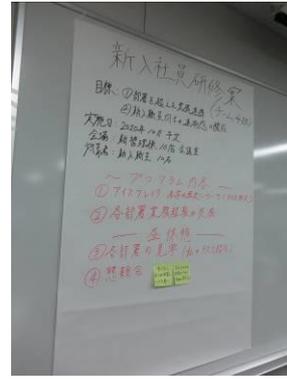
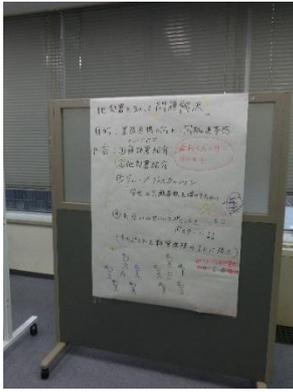


続いて、小林氏による「コミュニケーション基礎②『ビジネス文書作成スキルを高める』」をテーマとしたワークショップが行われた。「明日以降、すぐに役立つビジネス文書作成スキルを身につける！」をキーワードに、端的で相手に伝わる文書作成のコツを紹介。PREP 法や、文書作成時の“削除と分割”への意識、接続詞の使い方等について説明が行われ、ワークでそれを実践する場が設けられた。



まとめとして、宮原氏、小林氏、中西氏により、本日学んだことを活かし、課題解決に向けて協働する全体ワークが行われた。グループ毎にプランを作成し、その後のポスター見学では良いと思うものに各自投票を行った。トップ3が発表され、参加者から拍手が送られた。





最後に、リフレクションシートを用いてグループで本日の研修の振り返りを行い終了した。
研修終了後、受講者には「受講証明書」が配付された。
続いて情報交換会が開催され、講師や受講者間での活発なネットワーキングが行われた。



以上